

広報特別委員会記録

令和5年2月21日

【開催日】 令和5年2月21日（火）

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時5分～午後2時55分

【出席委員】

委員長	中岡英二	副委員長	福田勝政
委員	大井淳一朗	委員	奥良秀
委員	笹木慶之	委員	宮本政志
委員	森山喜久		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】 なし

【執行部出席者】 なし

【事務局出席者】

主査兼議事係長	中村潤之介	議事係書記	若野みちる
---------	-------	-------	-------

【付議事項】

- 1 令和5年度「ピックアップ！さんようおのだ」の出演について
- 2 中学生を対象とした本会議傍聴について
- 3 その他

午後1時5分 開会

中岡英二委員長 皆様お疲れ様です。ただいまより、広報特別委員会を開催いたします。付議事項に従って進めてまいります。一つ目といたしまして、令和5年度「ピックアップ！さんようおのだ」の出演について協議していきたいと思っております。委員から何かありますか。事務局から説明してください。

若野議会事務局議事係書記 付議事項1、令和5年度「ピックアップ！さんようおのだ」の出演について御説明させていただきます。出演の希望調査依頼がシティセールス課から来ておりまして、令和5年度の番組を編成

するに当たり、各部署において発信したい情報をシティセールス課が集約しております。出演するためには、2月28日火曜日までに「ピックアップ！さんようおのだ」の希望調査の回答を提出する必要があります。令和4年度については事務局が出演しておりまして、定例会の前後7回で、希望を出していたんですが、全部の希望には沿えないということで、今年度は3回出演しております。令和5年度についても、同様に希望に沿えない場合があることも考慮して、令和5年度の出演をどうするか、出演回数等も含めて、皆様で議論していただけたらと思います。

中岡英二委員長 今年度は定例会後の3回で行っておりますが、これ以上の出演回数があったほうがいいのか、このままでいいのか、御意見がありますか。

宮本政志委員 2月28日の締切を過ぎると、広報特別委員会で希望を出しても駄目ってことやね。そうすると、していったほうが良いと私は思います。ただ、今の活動についての精査、内容が果たしてどうなのかという検証がほとんどできてないので、そこをきっちりやっていくという前提で、令和5年度も実施すべきとは思っています。以上です。

中岡英二委員長 宮本委員、回数とかはどんなですか。前年どおり3回でよろしいですか。

宮本政志委員 まず、委員会で引き続き令和5年度もやるかやらないかが決まった上で、回数に関しては少し議論していただきたいと思っています。

中岡英二委員長 それでは、「ピックアップ！さんようおのだ」を継続してやるかやらないか、やったほうが良いと思えば継続してやりたいんですが、その辺の御意見がありますか。

大井淳一朗委員 まず検証するに当たって、私たち委員が共通の理解を持った

めに、これまで「ピックアップ！さんようおのだ」の中でどういったことを発信してきたかということ、今年度の状況を教えてください。

若野議会事務局議事係書記 今年度については、出演回数は3回となっております。日付が8月25日、10月13日、2月9日に出演しております。内容としては、8月25日が9月定例会開催のお知らせ、10月13日が議会報告会のお知らせ、2月9日が3月定例会のお知らせです。3回分の内容については、例えば、特別多数議決についてだったり、請願についてだったり、議会の活動に関することについても併せてお知らせしているところです。以上です。

大井淳一郎委員 発信するに当たって、議会の状況を知ってもらう上では、議会がいつありますよということも必要です。また、トピック的なものがあれば、特別多数議決で公共施設の廃止という重大な案件についてやったということ、請願については、こういう請願があったということをやってきたかと思えます。ですので、必要性という観点から、広報特別委員会とすれば、議会の活動状況で重大な議決があった場合は、詳しいことは言えないかもしれませんが、内容等について触れていく必要性はあるのかなと思っております。以上です。

中岡英二委員長 今、必要性があるという御意見が出ましたが、ほかにありますか。

笹木慶之委員 実績と検証ということですが、これがないと次に進めないということですが、事務局が早口で聞き取りにくいです。もうちょっとゆっくり話してもらいたいけど、大体つかめました。事務局とすれば、どのように評価されていますか。

若野議会事務局議事係書記 令和4年度については、議会として初めての出演でした。この度は事務局が出演しましたが、パーソナリティの方も今回

初めて、議会のお知らせのため議会事務局職員が来たということで、なかなか身近なようで、知らないことが多いですよという話をよくしていました。そういった意味では、広報活動の一つとして効果があったものではないかなと思います。ただ、「ピックアップ!さんようおのだ」自体を知っている人、知らない人それぞれだと思います。せっかく発信しているものなので、こういうことをしていますよということが、もっと分かるようになればいいのかなと思いました。以上です。

笹木慶之委員 なぜ、若野さんに聞いたかと言いますと、私もほかの団体のことでPRしたことがあるんです。物すごく気を使うわけです。終わった後に自分で反響が分かるわけです。やってよかった、あるいは、つまらなかったと思うやつがあるわけです。実践してみて、そう感じられるということであれば、僕は非常に有意義な伝達方法であったと思います。したがって、議会としての活動状況を市民の皆様によくお伝えし、さらに理解を深めてもらうという観点からいけば、その必要性は十分あると思います。だから、令和5年度も継続して私はすべきだと思います。ただ、回数等については、いろんな状況を踏まえた中で決めていけばいいかなと思っています。今年3回やったのであれば、少なくとも3回ぐらいは欲しいなという気持ちもあります。その辺は状況が許せばと思っています。

奥良秀委員 本来であれば、議員がラジオ局に行って、話をしたほうがいいのかと思うんですが、今は事務局が3回やられて、業務負担とかは振り返ってみてどんな感じでしたか。

若野議会事務局議事係書記 業務負担についてですが、事務局の私が、この度出演自体はさせていただいたんですが、お話しする内容については、委員長初め、委員の皆様と一緒に考えて進めていけたので、負担としては余りないです。以上です。

奥良秀委員 やった後の振り返りということで、今皆さんが言われているみたいに、結果どうだったのかというところがあるんですけど、パーソナリティの方からは、近くて遠いというような御意見があったということなんですけど、事務局自体がどういうふうに捉えたかもし分かれば。難しいですか、そういうのは。

若野議会事務局議事係書記 何を伝えるか、その伝え方については、初めて議会のことを聞く人にも分かりやすいようにということを考えてなだったので、ちゃんと伝えられているのかなという思いはありました。最初の出演では、議会とは何ですかというところから始めて、トピックスを入れていったりしました。分かりやすいようにかみ砕いて説明はできたと思いますが、実際に聞かれた方の意見を聞いたわけではないので、私が思うことです。これからも継続するのであれば、同様に続けていけたらなと思っております。

奥良秀委員 私の意見としては、令和5年度も前回と同じように、最低3回続けていただければと思います。ラジオで流すことが広報活動なんですけど、要は意見を取ることが、広聴特別委員会になるのかどうなのか、区分けがよく分からないので、どうしたらいいのかはまたこの中で話していけばいいと思います。また、事務局にお願いしていますが、皆さんでペーパーを作ってやられるのであれば、ぼちぼち議員でやっていったほうが、よりいろんな意見を吸収しやすくなるのではないかと思いますので、その辺も考慮していただきたいと思います。以上です。

宮本政志委員 先ほどの事務局の説明では、28日に申請すれば、年3回までの出演は可能なのか。回数を教えてください。

若野議会事務局議事係書記 特に回数制限は設けられておりません。前回は7回分希望して、ほかの課との調整もあるので、調整した結果、この度は3回出演しております。

宮本政志委員 例えば、仮に5回出演できますと執行部から返答があっても、3回と回数を決めてしまうことになるし、あるいは、やはり必要な活動であれば、予算を考慮した上で、回数を増やすかという議論も今日決めてしまうと活動できなくなってしまう。それから、今奥委員が言われたことで実は私もすごく気になっている大事なことがある。例えば、議会とはこういうものです、特別多数議決はこういったものですよという説明だけだったら、議員が仮に出たとしても——いろいろ法律の関係があっちゃべりにくい、しゃべっちゃいけないこととかがあるという縛りがあるから、事務局に出てもらったほうがいいという前提があると思う。出れるのであれば、事務局の負担や、議会活動を踏まえて今後決めていけばいいと思うんです。令和4年度と同じように3回でいいかと、回数は今日決めないほうがいいかなと思うんです。これは提案です。

大井淳一朗委員 宮本委員の言われるように、回数を縛る必要はないんですけども、一応コンセプトとして、定例会のお知らせという面があります。9月、12月、3月の定例会の前で、今回は、8月、10月、2月となっていますので、そういうコンセプトでいけば、3か月後ぐらいの5月ぐらいから、4回になると思うんですが、4回とか5回とか決めずに、定例会のお知らせをするという中身だけ、うちの委員会で統一すればいいかなと思うんです。奥委員も言われていた、議員がやるということについては、議員がやると内容が偏ったり、売名行為になっちゃいけないということで事務局に出演してもらいました。しかし、奥委員の言われるとおり、原稿内容をしっかりと精査し、統一したものであれば、ぼちぼちいいのではないかという意見については私も賛成します。以上です。

中岡英二委員長 相対的に聞いていますと、継続したほうがいいという御意見が多かったと思います。これからのことですが、進め方、回数、コンセプトをしっかりとこれから協議していきたいと思っています。それで決定したいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）それでは継続してやるということで決めます。

森山喜久委員 回数については、定例会の前に出演させてもらいたいということで、申請を委員長、副委員長、事務局に一任したらと思います。

中岡英二委員長 委員長に一任ということなんですが、委員の皆さんそれでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでやっていきます。

笹木慶之委員 そうすると、議会の前にやるということはもう決まりですか。議会のお知らせとしてということになるわけですね。

大井淳一郎委員 定例会の前に、次の定例会のお知らせをするということ。あわせて、重要な案件があったら結果を言うということがありますので、4回がベースになると思います。4回で申請してもいいと思うんですけども、足していく場合もあるけど、希望の出し方は何回か決めないといけないですか。そこを確認したい。

若野議会事務局議事係書記 事務局の希望の出し方としては、何月何日木曜日に、こういう内容で、議会事務局が出演しますという希望を出さないといけないです。前年については、出演回数を決めていただいて、定例会の前後で、議会事務局が委員長と副委員長に相談して、当て込んだ状態になっています。計7回で希望を出しています。今回も同様にされてもいいですし、今言われたように定例会前、4回で最初から希望するといふのでも、どちらでも大丈夫と思います。

宮本政志委員 7回出して3回出演とすると、定例会ごとに4回で出したら、今度は1回か2回になるという可能性はないですか。大丈夫ですか。

若野議会事務局議事係書記 日にちは決め打ちなので可能性はあります。希望日に、たまたまほかの部署でどうしてもお知らせしないといけない内容があるとかでしたら、希望に沿えない場合があると思います。

笹木慶之委員　なぜ、その前にするかということを知ったのは、もし議員が対応するという事になったときには、いつやりましょうということだけを伝えるってというのは、寂しいわけです。一つの案ですが、もし議員が出てやるということならば、お知らせをするけれども、委員会ごとに出て、前回の定例会ではこういったことがありましたというような、お知らせの仕方もあるんじゃないかなと思う。議員が先のことだけでも意味がないから、委員会ごとに2人出演して、かけ合い問答みたいにして、この件についてはこういったことが話題になりましたとやると、委員長報告された事項だから、勝手に言うことはできないですし、少し中身が議員の口から伝えられるかと思えます。議員が出演することも踏まえて、もう少し検討したほうがいいのかと思えます。これから先の問題として提案しておきます。

中岡英二委員長　今、笹木委員の言われたことは今後の課題として取り組んでいきたいと思えます。

奥良秀委員　例えば、3回あるのであれば、常任委員会が三つありますので、常任委員会だけでパートを持ってもらって、例えば、民生福祉常任委員会に所属する広報特別委員会のメンバーが行って、こういうことを話しましたということによってやれば、詳しく話ができるのかなと思えます。いろんな案が出てくると思えますので、それは柔軟に対応して行って、回数だけは確保して出演できるようにしないと問題があると思えます。やっぱり最低でも4回は欲しいです。だから、7回でお願いして4回になるのか、4回でお願いして4回になるかよく分かりませんが、多くとれるように努力されたほうが良いと思えます。

宮本政志委員　先ほど、私が3回とこの場で決めないほうが良いと言ったのは、今、奥委員が言われたことと一緒に、例えば5回希望して、5回出演できるとなったのに、いや3回と委員会で決めたじゃないですかという後ろ向きなことになったらいけないから、数の少ない3回とまだ決めない

ほうがいいですよという意味合いです。何回が理想かは、定例会ごとで4回が理想ですね。それを4回とある程度決め打ちして、執行部に言ったとしても、もし執行部がその日に発表しないといけないことがあり、重なる場合、4回の予定が3回になるという可能性もあると事務局が言われた。そうすると、前年度と同じように、7回で希望を出しておいて、3回又は4回の可能性もあるということです。その辺りで委員長が決めていったほうがと私は思うんです。

中岡英二委員長　それでは、今言われたように、7回希望して、最低でも4回は確保していきたいと思います。

大井淳一郎委員　7回という背景は、恐らく議会の前後を網羅するためです。この話が出たのが年度途中だったんで、8回じゃなくて7回になったと思います。だから前後で希望を出しておいて、議会前を確保する。申請は定例会の前後、例えば3月定例会の後と6月定例会の前を2回やるパターンの申請になる。正直言って4回取れば良いとは思っているんですけども、よくないのは、3月定例会の後に二つとれるけど、6月定例会の後はない、9月定例会の前はないとかがよくないんで、定例会前が理想です。

宮本政志委員　これ議会活動ですよ。仮に4回やりたいが、ところが、執行部の都合で3回になりました、1回分を補正で予算とることが難しいかな、できるんじゃないかな。

中村議会事務局主査兼議事係長　予算うんぬんについては一旦置いて、当初の契約が恐らくあると思います。今は、木曜日になっていて、木曜日がいっぱいで削られたから、別の曜日という考え方に聞こえました。そうになると、当然契約外の部分になりますから、契約も改めて議会のできるかどうかというところと、予算が必要になってくるという2点の懸念があると思います。今のままだと、木曜日のところでいっぱいだから入れ

ないという話なんで、当然その曜日には入れないです。恐らく週1のこの時間帯で契約しているはずですので、完全に別の部分になってくるんじゃないかなと思うので、そこを確認させてください。

宮本政志委員 例えば、木曜日に限定せず、議会で火曜日、水曜日とかって、時間帯のすり合わせをすればいい。年度が始まる直前か、それまでに1年間分のことをラジオ局に言っておかないと駄目だということですか。途中から言えないのですか。

中村議会事務局主査兼議事係長 そこも含めて確認させてください。もちろんそうなると、議会として新たな事業になりますから、かたい話をすれば、きちんと事務事業調書と実施計画を作って、臨時で予算を上げるという手続が必要になってくると思います。前提として、本当に別の曜日に入るかどうかを私が把握できておりませんので、そこも含めて確認させていただけたらと思います。

中岡英二委員長 今、事務局が言われたように、確認してからやっていきたいと思えます。

大井淳一郎委員 今、「ピックアップ！さんようおのだ」の番組を間借りしている状況です。先ほどから笹木委員も言われているように、前にあった議会の重要な結果と、先にあるお知らせという組み合わせからすれば、しっかりスパンを空けて4回とればよいと思っています。その方向で交渉して、どうしても難しい場合に、宮本委員が言われた、議会チャンネルじゃないけど、そういう検討に入ればよいのかなと思うんです。そういう形で、今日はまとめていただければよいと思っています。

中岡英二委員長 取りあえず、4回を希望していきます。暫時休憩します。40分から再開します。

午後 1 時 3 4 分 休憩

午後 1 時 4 5 分 再開

中岡英二委員長 それでは再開いたします。付議事項 1、令和 5 年度「ピックアップ！さんようおのだ」の出演について、広報活動として必要であるので継続していきます。その回数といたしましては、昨年と同様に 7 回申請して、最低でも 4 回は確保していきたいと思いますが、皆様どうでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）よろしいようなので、それで取り組んでいきます。付議事項 2 に入っていきます。中学生を対象とした本会議傍聴について協議していきます。広報特別委員会としては、広報活動の一つとして、中学生を対象とした本会議傍聴を積極的に取り組んでいくと決まっておりますが、実施時期、実施対象、移動方法、本会議傍聴の内容、その他についてこれから審議していきます。実施時期と実施対象については、委員会運営を円滑に行いたいと思ひまして、事前に教育委員会に委員長と副委員長で御意向を聞いてきました。教育委員会の意向といたしましては、実施時期は、令和 5 年 6 月定例会に実施希望、実施対象としては、主権者教育やカリキュラムに適するということで、市内の中学 3 年生、できれば、令和 5 年度は高千帆中学校をモデル校として、生徒会 1 3 人が議場で傍聴し、残りの 3 年生はオンライン等で聞ければなということをお願いしてまいりました。こういった御意見がありました。委員の御意見をお聞きしたいと思います。

奥良秀委員 例えば、内容の（２）実施対象者が生徒会 1 3 名になっているんですが、本来、中学 3 年生をめぐりにお話しをされている中で、1 3 名は全員、中学 3 年生なんですか。

中岡英二委員長 3 年生です。

笹木慶之委員 我々は議会の広報活動で取り組みます。学校側は、あくまで学

学校教育の一環としてということなんです。だから、前から言っておるように、そこのすり合わせがうまくいかないと。ただ、いけいけどんどんにならないことを申し上げて、協議してもらったわけです。ここに書いてある内容については、一応、該当中学校及び教育委員会は全て了解事項ですね。でないと、話が進めませんからね。そこで問題は、もともとは全ての生徒に来てもらうことが前提だったわけですが、この学校代表という形で生徒会13名が本議会に来られ、会得されるのは臨場感あるものなんですよね。ほかの生徒は学校でモニターを見て学習することは、了解事項ですね。

中岡英二委員長 これは高千帆中学校の生徒会で、生徒会以外の中学3年生はリモートで行ってもいいですよという了解は取っております。

笹木慶之委員 そうしますと、6月定例会は高千帆中学校のみで行うということですか。高千帆中学校の生徒だけを対象に行うということですか。

中岡英二委員長 今、基本的には高千帆中学校としております。もし仮に、よその中学校も校長会等でこういう情報をとって、オンラインでやっていきたいという御意向があれば、また考えていきたいと思えます。

宮本政志委員 委員長の運びでいくと、今は委員長と副委員長で教育委員会とすり合わせをされて、教育委員会としての提案で、令和5年度6月定例会、高千帆中学校3年生、3年生でも恐らく130名から140名で人数が多いから、生徒会の方々に傍聴していただいて、残りの高千帆中学校3年生、生徒会以外の生徒はリモートで中継を見ますよと、今おっしゃったわけでしょう。その辺りについて、私はいいと思えますよ。それを決めないと、その内容にさらに高千帆中学校以外の他の市内の中学校3年生の手法まで入れ込んでしまうと、その辺りの話がずれてきたり、何かおかしくなってくる。そもそも、高千帆中学校3年生の生徒会、ほかの生徒はリモート、6月定例会ということまでずれてしまう。まずは

委員長がおっしゃった教育委員会の提案の三つ、6月定例会、対象は高千帆中学校の3年生、ただし、3年生の中の生徒会が実際はこちらに傍聴に来られる、残りの3年生の生徒はリモートで高千帆中学校で見ますよと。その辺りをまずここで決めんこと、ほかの中学校をどうするか一緒にしないほうがいいんじゃないですか。

中岡英二委員長 分かりました。今言われたように、他の学校をリモートにしたかどうかというのは私の意見になりますので、そこは訂正させていただきます。そこはまだ話が至っておりません。

笹木慶之委員 だから、私はそこを聞いたわけです。それを固めていかないと話ができないじゃないですか。内容のとおり進まなかったら、意味をなさんじゃないですかと言っているわけです。だから、高千帆中学校と書いてあるんだから、それですかと聞いたら、「いや」となったから、話になってしまったけどやね。「そうです」と言われればよかったわけ。もともと学校単位で議会に来てもらうという前提だったでしょ。単年度で全ての学校に来てもらうわけにはならないわけですよ。だから、まず1校に絞っていくと、1校に絞った中で、本当は全員に来てもらいたいけれども、スペースもないし、無理があるから、協議に入って、この方法でいかがかと言われたわけでしょ。それに諮らんと決めようがないじゃないですか。一応そういうことで理解しますよ、いいですね。もちろん、誰が来られるかは学校で決められることだけど、まず、教育委員会と中学校、それから我々の委員会が全く同じ考え方でいいという判断ということですね。もう1回確認します。

宮本政志委員 今、笹木委員がおっしゃることは分かる。例えば、こちらが決めただけど、学校側、教育委員会が難しかったらということもあるし、逆に、今こうやって教育委員会がせっかく提案してきたことで、やっていきたいと思いますかというところで、実際に動き出して、急遽できませんとか、両方がそろわないと駄目なわけでしょう。そうすると、今日の広報特別

委員会で、6月定例会にやりましょうと。実施対象の中学校は高千帆中学校の3年生でしましょうと。ただ、生徒会13名の方が傍聴に来られて、残りの高千帆中学校3年生の生徒は、リモートで見るようにいたしましょう。そういったところを、ここで決めたら、それを早速、今度は正式に教育委員会、あるいは中学校に依頼して、正式な回答を頂くと。それに当たっては、例えば、今ここで決めたことは、絶対に大丈夫なんじゃないかな、駄目だったら委員長の責任どうだというような方向の話じゃなくて、ここで決まったら、すぐ教育委員会や中学校に打診すると。そのためには、ここで決めましょうと。そういう流れでいいんじゃないですか。

笹木慶之委員 誰も責任を取れとは言っていないんですが、このように協議に行きましたと言われるから間違いないですねと確認したわけです。でないと、話が進まないのではないですかね。だから、「そうです」と言われれば、この委員会で決めればいいわけであって。そこは交渉した人が、きちつと言われなきゃ我々は分かりません。

中岡英二委員長 一応、今の三つ、令和5年6月定例会、高千帆中学生会13人、生徒会以外の方はリモートでというのは、教育委員会からの提案として聞いて帰っております。委員会の中で、それを承認していただければ、これをもっと詰めていきたいと思いますが、確認をとっていきたいと思います。

奥良秀委員 最初の出だしのときには、山陽小野田市の中学3年生全員に主催者教育を行うためにやりますよという話が前提でした。この度、挙がってきたのが高千帆中学校の生徒会13名を本会議場に呼んで、あとはリモートでということです。本来であるならば、全ての中学3年生に受けたいという目途で動いていました。であるならば、ここに来られるのが高千帆中学校の生徒会13名であって、ほかの中学3年生もリモートでできるような話合いとかはされましたか。

中岡英二委員長 その辺はまだやっておりません。さっき言われたとおりなんです。ほかの学校には、まだ私は確認をとっておりません。

奥良秀委員 そうなるのであれば、高千帆中学校の生徒会が今回はここに来られると。私は、高千帆中学校の生徒会以外の中学3年生にも見てもらいたいし、小野田中学校とか、ほかの中学校の生徒にも見てもらうのが、今回、広報特別委員会で出てきた中学3年生に主権者教育を行いたいという意見の結果じゃないかと思うんですよ。高千帆中学生だけにしてしまうと、そこに入らない中学3年生は絶対に出てきますよね。そういったところの取りこぼしはどういうふうに考えていかれるのかということもありますので、その辺も検討しなくてはいけないと思うんですが、いかがですか。

宮本政志委員 委員長と副委員長で教育委員会とどのような交渉をされたをちょっとお聞きしたいんですけど、最初から高千帆中学校がうんぬんと交渉されたかな、そんなことあるのかなと思う。今奥委員が言われたように、基本的にはこの概要目的を、当初、森山委員から提案があって、傍聴のことが出てきたときに、その協議の中では、例えば埴生中学校、厚陽中学校、小野田中学校とか、いろんな中学校が市内にあるよね。恐らく、こういう概要と目的によって、中学生に傍聴していただきたいんだと相談されたんじゃないのかな。その相談をして、教育委員会といろいろと話をすることで、例えば教育委員会からこういう提案が出てきて、今回は高千帆中学校の3年生、人数の関係も恐らくあったんじゃないんですか。それで、一遍に140人がどうなのかな。そしたら、生徒会13人どうですか。平等の観点から生徒会以外の生徒はどうするんですか、それなら、リモートでやっていきましょうという話を、教育委員会と普通するんじゃないの。それから、よその中学校はどうやっていきますかと、例えば、ほかの中学校がうちもそれ見てみたいとなった場合はリモートやってやりましょうか、リモートが可能なのかとか、あるいは次回のこう

いった試みのときに、おたくの中学校来られませんかとか、奥委員が言われるのはそういう話合いが前提にあって、そして最終的にこういう提案があって、委員長としてはこの提案があったから、この内容で皆さんどうでしょうかという流れじゃないの。

中岡英二委員長 宮本委員が言われるように、私どもが持っていった話とすれば、市内中学生に、こういう意向で、こういう形で議場で傍聴していただきたいんですが、どのようにできますかということで、こちらから大まかな提案をしました。そして数日後返ってきた答えが、やはり、今年やるに至っては、高千帆中学校の生徒会13人に限って、残りの生徒はリモートでやったらいいんじゃないかという御提案は教育委員会から頂きました。そして、今回は初めての試みですから、来年以降は学校単位でできればいいなという御提案もありました。だから、こちらで高千帆中学校を指定したとか、生徒会を指定したとかはありません。あくまでも向こうからの実現可能な提案として受け止めて帰りました。

奥良秀委員 私が言うのは、あくまで指定したとかどうとかを言っているわけではなくて、例えば、委員長と副委員長がこういう提案で教育委員会に言いました。高千帆中学校からこういうふうな内容の提案が出ましたと。そうであるのであれば、これだったら、私たちをお願いしている意味の何%か分かりませんが、ちょっと違いますよね。やっぱり私たちは中学3年生に主権者教育を行いたいんですよということを、委員会で話しされていますよね。であれば、ほかの中学生にリモートでできるんじゃないですかという、もう1回お願いであったり、見るものも録画されていますよね。録画なら同じものは見れる環境にはあると思うんですよ。だからそういったことももう一度よく精査されたほうがいいんじゃないかなと思うんですけど、そういうことを言われなかったんですか。

福田勝政副委員長 初めてのことでですから、テストケースと言われました。それから中身を見て、全中学生に、リモートか何かでやる方法を言われま

したけど、テストと言われました。

奥良秀委員 今から事業をするのに、テストというのはあまりいい表現ではないと思うんですよ。やるのであれば、きちんと精査して、テストじゃなくて、実行できて、ちゃんと結果が出るようなものをしていかないと、委員会をやっている意味がないと思います。私が言いたいのは、今回この概要で、中学3年生の主権者教育を行っていきますよと委員会で話が出ましたよね。私はとてもいいことだと思います。今回、正副委員長が教育委員会に提案したところ、高千帆中学校という案が出ました。それもいいことだと思いますよ、ちゃんと回答が返ってきましたから。委員長、副委員長としましたら、これでよかったですか。本来であれば、中学3年生全員に主権者教育をしたいっていう委員会の総意があって、教育委員会に行かれたわけですよ。であるならば、ほかにも広げていきたいということをもっと言うべきじゃないかなと思うんですけど、いかがですか。

中岡英二委員長 奥委員がおっしゃるとおりだと思いますが、リモートでの対応はこれから先のことと思うんです。委員会としても、リモートで他の学校の3年生の主権者教育に役立てるような方法もあるんじゃないかと話が出ましたが、さっき言いましたように、まだそこまでの考えが至ってなかったというのがあります。これからそういう話が出てくるかもしれせん。

宮本政志委員 先ほど副委員長が言われたテストという言葉は恐らく教育委員会は使わないと思う。先ほど奥委員が言ったように、今の発言は気を付けとかなないといけないから、私はその場になかったから、自分の意見としてちょっと言ってしまいうけども、委員長、副委員長で行かれたときに、教育委員会は、どこどこの生徒をテストするぞという言葉を使うことはちょっと考えにくいから、副委員長が受けた感想で、テストという言葉を使ったと今言われたと僕は思うんで、その辺りの言葉は副委員長、気を付けたほうがいいと思う。それと今の話は、奥委員が今言われるこ

とと、今回この事業が1回きりで終わるんなら、そもそも市内の中学校全員に対してやろうとしているのに、何で高千帆中学校の3年生だけなんですかと、確かに争点がそこに行く可能性は大いにあるよ。でも、継続してやっていこうという前提の事業なんだから、取りあえず今回は、市内の中学生、若しくは3年生、1年生、小学校、高校生に絞ってって、打合せをした結果、提案として出てきたわけでしょ。1回きりでもうやめますって言うんなら、平等じゃないじゃないかという奥委員の今の意見は本当に重要視されるけども、継続性があるわけですから、取りあえず今回の6月定例会は、高千帆中学校の3年生、そして3年生の人数は少し多いから、生徒会13人が傍聴に来る、高千帆中学校の3年生の残りの生徒はリモートで雰囲気を見る、この提案に対してどうか、そしてほかの中学校から要望で参加したいということが出てくれば、可能であれば拒まずに、どうぞリモートで見るとは委員会としては可能ですよと。ただ、学校が実際に見ることができなかったというのは学校の問題であって、その辺はちょっと整理して議論進めていかんとぐちゃぐちゃになりますよ。だから僕は冒頭に言ったでしょ。今の教育委員会とのすり合わせで、教育委員会が出してきた提案を委員長提案として出されたことに関しては、この6月定例会、高千帆中学校の生徒の13名が傍聴、高千帆中学校3年生の残りの生徒はリモートで見ますということに関しては、賛成いたしますと私は冒頭に言ったでしょ。その辺りを絞って進めてもらわないといけないと思います。

中村議会事務局主査兼議事係長 今の皆さんの御意見を含めて確認させてください。今、オンラインのことが少し出ていたと思います。恐らく、生徒に1人1台端末を山陽小野田市はもう導入しています。その辺りの話は学校教育課からお話とかは何か出ませんでしたか。そういうのを活用したらできるだとかいう話、例えばこの日に高千帆中学校の生徒がいらっしゃるんであれば、その端末で対応できるので、その場合はオンラインで受けたいだとか、そういうようなお話とかはなかったですか。1人1台端末があるんで、何かイメージすればできるんじゃないかなと思うん

です。

中岡英二委員長 1人ずつ端末を持っているから、高千帆中学校に関してはできるであろうと。そのほかのリモートでの対応は、そこまで話が出ていません。

大井淳一朗委員 次年度以降の継続性の話も、今、懸念が出ていたと思いますけど、もちろん議会側としては広報活動ということでしょうから、当然、来年度以降もされたいという意向で委員会として進んでいるのではないかと思います。とはいえ、今、時期的なものがあるって、令和5年6月定例会に向けて動いているがため、福田副委員長がおっしゃった言葉はありましたけど、テストケースというか、試行というか、先進的にまず高千帆中学校でやってみたいというような御意見があったんでであろうと今推測します。福田副委員長のおっしゃっていたお話はそういったことだったんじゃないでしょうか。

中岡英二委員長 令和5年に限っては、テストケースとしてやって、テストケースと言っちゃいけないのかもしれないけど、令和6年以降は本格的に取り組んでいってもいいという話は聞いております。

森山喜久委員 ですから、学校教育課との協議の中では、今回やる中で、例えば移動手段がどうだったのかとか、移動方法、高千帆中学校でやってもらって、その感想を聞いてどういうふうに生かしていくのかを、翌年度、次回以降にきちんとつなげていくという前提条件で、今回、こういう令和5年6月に高千帆中学校の3年生をやっていくという話になったということによろしいんですか。

中岡英二委員長 まだ、移動方法とかの話には入っていませんが、とにかく1回やることによって、問題点とか出てくると思うんですよね。そういうのを参考にしながら、次年度につなげていきたいという思いはあります。

奥良秀委員 繰り返しになるところもあるかもしれませんが、私は教育委員会が出してきた案でやられることについては、特に駄目だとか思っておりません。ただ、最初の概要、目的のところ、中学3年生全体という話がある中で、今回1回目をやって継続的にやられるのはいいんですけど、中学校が何校もありますので、そこで触れられない中学3年生はもちろんいるわけなんです。そこをきちんと考えて、事務局も言いましたけど1人1台端末もある。そのことは多分分かっていらっしゃると思いますので、その辺ももうちょっと詰めて、教育委員会と話をさせていただいて、多分録画してあると思いますので、同じモニター、同じ画面で見れると思うんですよ。だから、6月定例会をやっているときにそれをリアルタイムで見るのではなくて、例えば夏休みとかに宿題として見てもいいじゃないですか。そういった柔軟な考え方で、もう1回教育委員会とすり合わせをしていただいたほうが私はいいいんじゃないかなと思うんですけど、いかがですか。

中岡英二委員長 奥委員は実施時期、実施対象者に関してはいいということです。以降の細かい打合せを、さっき言われたことは、もう一度、教育委員会と協議していきたいと思います。

奥良秀委員 私が言うだけで、やれという意味ではなくて、協議してほしいってことなんです。そういう強制をしているつもりはないです。

笹木慶之委員 先ほど私が聞いたのは、議会は継続してやるということはいいいんだけど、中学校3年生というのは一生に1回しかないわけですね。意味が分かりますか。（「分かります」と呼ぶ者あり）1回しかないわけ。そしたら、ほかの中学校の生徒にはそういう恩恵がなくて、高千帆中学校だけしか勉強する機会がないじゃないですか。来年は今の中学3年生は、もういない。だから僕が言ったのは、大丈夫ですかと。教育委員会がそういう方針を出したんですかということを知ったわけ。だから、学校運営はそれぞれ校長が皆決めているわけだから、多分その調整

までいってないのではないかと思うわけ。だからその辺の協議をしっかりとされた上での提案かなと僕は思ったから聞いたわけです。それならば、まだほかの方法もあるのではないかと。中学校が7校あるんだったら、7校の代表者2人ずつにすれば14人になる、そしてモニターで皆に見せるという方法もあるでしょう。だから、その内容をきちっと出しているから、教育委員会が全部含めた最大限の決定事項かと聞いたわけ。だから、教育方針としていいのかということです。

宮本政志委員 今、二つ言ったよね。奥委員が言われたことと、笹木委員が言われたとは少し重なるところあるんだけど、別段、今回の6月定例会でこれを実施したときに、高千帆中学校以外の中学校が、例えば、厚狭中学校、埴生中学校、うちの3年生にもリモートで見せたいんだけどという希望が出てきた場合は、当然それは議会としたらいいですよ。だから、教育委員会に、高千帆中学校だけじゃなくて、ほかの学校にもというように言えば、奥委員が言われた平等というのは、ある程度担保される。笹木委員が言われることは、さっき言ったでしょ。厚陽中学校とか埴生中学校、市内の中学校という前提があったから、そういう交渉をされたんでしょ。それをちゃんと説明せんから今の笹木委員のような質問が出るのよ。だから、決め打ちでこれ来たんじゃないで、委員長と副委員長で教育委員会と打合せして、例えば厚狭中学校の場合は、竜王中学校の場合は、1クラスなら、例えば埴生中学校の場合は、厚陽中学校の場合は、でもバスがいるよね、バスってどうしましょう。でも、市のマイクロバスやったら今コロナ禍でもあるし、定員これぐらいかな、一般的な貸切りのバスを借りる、予算がこれぐらい必要になってくるのかなあ、その予算はどうしたらいいのかなとか、とにかくいろんな交渉、議論を教育委員会としたんじゃないんですか。その結果、教育委員会から提案として、6月定例会に高千帆中学校の3年生、13人の生徒会が傍聴、残りの3年生はリモートでいかがでしょうか。そうすると、その下の移動方法もこれに利が通るんよ。市マイクロバスで13人なら大丈夫ですよという提案じゃないんですか。本会議の傍聴の内容に関して

は、それはいろんなことも考えたら、委員長、副委員長と教育委員会の話し合いをした結果、教育委員会の提案としたら一般質問を提案してきたのか。そういう経緯を私らにきちっとこう話してくれないと、今笹木委員の質疑に関しては、まさにそうでしょう。その辺り、委員長がどういう交渉されたか話さない。

笹木慶之委員 高千帆中学校うんぬんじゃないわけ、教育委員会と話をしてるわけやからね。教育委員会の方針がそれしかもうないというんだったら、それでいいんだけど。そこをしっかりとされないと、奥委員が言ったら、「そうですね」と言うから、ちょっと待てよとなる。だから、問題はそこです。そのことをしっかりと整えてください。

中岡英二委員長 暫時休憩しましょう。

午後 2 時 1 7 分 休憩

午後 2 時 3 9 分 再開

中岡英二委員長 それでは委員会を再開いたします。広報特別委員会として、広報活動の一つとして、中学生の議会傍聴についていろんな協議をしてまいりました。一つ目は、我々として、できれば6月議会、市内の中学3年生を対象として実施したいと要望に行ってまいりました。そうした中で、教育委員会の提案といたしまして、たしかに、市内全中学校で将来的にはやっていければいいということなんですが、まず、今回に限っては高千帆中学校の3年生、しかも生徒会13人に限定して、今回はやったらどうかと提案がありまして、私もそれを委員会にかけようと思って持って帰りました。そうした中で、移動方法も13人ということで、市のマイクロバスを利用して経費を下げながら実施できるのではないかと考えております。そうした御意見を踏まえて、中学校によって見られないとか、見られない学校で、見たいという学校もあるんじゃない

かと。そうしたときの対応についても協議していきたいと思いますが、その辺どのようにお考えでしょうか。まずはですねこの3点、実施時期は6月定例会、実施対象者は高千帆中学校3年生、移動方法についてはマイクロバスについてどのようにお考えか御意見をお聞きします。

宮本政志委員 委員長、発言で気を付けられたほうがいいと思うのが、教育委員会がやったらどうかとおっしゃったんですけど、教育委員会はあくまで、こちら側が相談しに行ったら、教育委員会から提案があり、これでやったらどうかってことじゃないと思う。それで、先ほどから、これで3回目なのかな、6月定例会で実施することに関しては賛成です。それから、今回、高千帆中学校の3年生、そして3年生の中の生徒会13名が傍聴に来られる、残りの生徒に関してはリモートで見られるということも賛成です。先ほど、奥委員が重要なことを言われた、もし、ほかの市内の中学校が、例えば3年生、3年生に限らず、ほかの中学校からリモートと一緒にこれを見たいんだけどという要望があったら、公平の観点からいくと、広報特別委員会としては見ていただきたいということで私はいいいと思います。交通手段については、13人の生徒たちですから、市のマイクロバスで移動方法を確保すると。この教育委員会の提案に関して、ここまでにに関して私は賛成です。以上です。

中岡英二委員長 ほかの委員にもお諮りしたいのですが。

奥良秀委員 私も、るるいろいろと発言させていただきましたが、最初の概要、目的等々が合致して、今回は高千帆中学校でやられるということで、私も賛成をさせていただきます。ただ、今後やられるにしても、先ほど宮本委員が言われたとおり、市内の中学3年生全員に、私としては見ていただきたいと、やはり不平等がないようにしていただきたいというところがまず1点。それと、今回こういうふうに高千帆中学校の中学3年生が見ていただけるということになるのであれば、どうだったか、感想などをもらえるようお願いをしておかないと、やっただけになりますし、

私たちも今度やるときに、どういったことを気を付けていけばいいという問題提議にもなってくるので、その辺も負担がないように、かつ私たちも御意見を頂ければありがたいかなと思っていますので、お願いしていただきたいと思います。6月定例会の一般質問ということも私はいいいと思いますので、そのように進められてもいいと思います。

笹木慶之委員 今、奥委員が言われましたが、私は全くそのとおりだと思います。私もそれで同感です。賛成します。

大井淳一郎委員 委員なので、私も発言させていただきます。今、この件につきましては、正副委員長が教育委員会と協議して、提案して、教育委員会もカリキュラム等ありますので、その辺りを調整して出された結果だと思っております。今の件については、私も賛成いたします。

森山喜久委員 私も令和5年6月定例会、高千帆中学校生徒会とリモート、移動手段として市マイクロバス、本会議傍聴の内容も一般質問、委員長提案に賛成いたします。

福田勝政副委員長 賛成です。

中岡英二委員長 皆さん、賛成ということで、これで確定します。実施時期は令和5年6月定例会、実施対象は高千帆中学校3年生の生徒会13人、移動方法とすれば市のマイクロバスを使用すると。そして本会議の傍聴の内容としては一般質問と決めていきたいと思っています。それと先ほど奥委員からありました、高千帆中学校だけが見て、ほかの中学校が見られないというのは不平等じゃないかということがありましたので、これも前向きに取り組んで、ほかの中学校でもリモートで見られるように前向きに、取り組んでいきたいと思っています。よろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、中学生を対象とした本会議の傍聴について終わりたいと思います。その他でありますか。

大井淳一郎委員 今、手元にあります中学生を対象とした本会議傍聴による広報活動についてということで、今決まったことがあります。懸念事項の中も、1番から8番までありますが、大方、1番から7番については、今、議論があったところだと思っております。8番の傍聴中学生に対する事前参考資料は必要かということにつきましては、やはり中学生は議会に対してなじみがほとんどないと思いますので、一般質問の内容とか、議会とは何かとも含めて、ある程度何かの参考資料があれば、教育サイドもですね、親切ではないかと考えますので、これについては、何らかの資料を用意すべきだと思います。最終的にはこの委員会の場で、この資料でどうかということを経る必要はありますけれども、そういう必要性は感じております。以上です。

森山喜久委員 それに加えて、広報特別委員会で作成しております議会だよりもお渡ししていただけたらなと思います。

中岡英二委員長 今、大井委員から、当然事前の資料を作って、中学生に見せたらどうかという御意見がありました。

笹木慶之委員 大井委員の言われるとおりだと思います。そのように取り計らいをお願いしたいと思います。

中岡英二委員長 今の意見に関連して事前の資料を作ってはどうかと。それでは、事前に資料を作りたいと思います。これは、やはり委員長と事務局で用意させていただきたいと思いますが、事務局どうでしょうか。

大井淳一郎委員 これについては、委員会の場での発言でもありますし、委員会で決めることですので、案はお任せしますけれども、最終的にはこの委員会でこれを配布しますということを決めたほうがいいと思います。配り方なんですけれども、傍聴13人だけだと、ほかの人たちに不親切になりますので、可能な限り、高千帆中学校になりますけれども、3年

生には配るべきだと思います。その辺の負担はちょっと、どういう費用負担か、こちらで持てるとは思いますが、学校が持つのは、ちょっとまずいので……全然、事前参考資料については正副委員長と事務局で相談して、案を出してもらって、最終的にはこの委員会の場で、これを事前参考資料としますということはやりましょう。そういうことです。枚数については全生徒に配りましょうというのが、一応私の案です。以上です。

中岡英二委員長　ほかにありますか。なければ、私と事務局で案を作って、最終的な確認を当委員会においてやっていただきたいんですが、事務局のほうで何かありますか。

若野議会事務局議事係書記　事前資料の件は、委員長、副委員長と事務局にて、案を作成することについては分かりました。その事前資料なんですが、どういったものを作成するのか、少しお話ししていただけたらと思います。例えば、中学3年生は公民の授業をされて、今回の議会の傍聴についてもその辺が関連してくるのかなと思うんですけども、そもそも議会とは何かという資料が欲しいとか、実際に一般質問を見られるのであれば、一般質問とは何かとか、実際に見る一般質問の方のかみ砕いた内容だとか、そういった具体的にどうしていくという方向性を出していただけたら大変助かります。

宮本政志委員　委員長、副委員長はこの件で教育委員会から提案をもらう過程で議論をかなりしてらっしゃると思うんですね。そうすると、委員長、副委員長で教育委員会に、どういった資料を生徒にお配りしたらいいだろうかと教育委員会にも聞いてみて、教育委員会がこういったものがないんじゃないんですかというものがあれば、そういったものも情報として取られて、そして、まだ6月定例会ですから、3月定例会が始まったばかりですし、また委員会が開けますから。教育委員会としてはこういう資料を生徒たちに渡したほうがいいんじゃないかという案が出たと。

それをもって、今度は事務局が言われたようなことも、議会側としてどういったものをそろえたらいいかを議論していけばいいと思うんで、教育委員会に情報を取ってもらえませんか、委員長、副委員長で。

中岡英二委員長 分かりました。ほかに何か御意見がありますか。今言われたように、私と副委員長でどういう資料を提供したらいいかを聞いてまいります。

奥良秀委員 懸念事項の5番、継続性についてなんですけど、今回本当に時間がない中で決めました。本来であれば、もう少し余裕を持って決めるべきだと思いますので、この辺も併せて、早めに話を進めていったほうがいいんじゃないかと思うんですが、いかがですか。

中岡英二委員長 今、そういう御意見が出ましたが。

大井淳一朗委員 奥委員の言われるとおり、継続していくためには事前の準備が必要だと思いますので、今回の令和5年6月定例会の実施をした後で、検証するとともに、カリキュラムの問題もありますので、やはり早め早めに次に向けての準備をすべきだという点に私も同じ意見です。

宮本政志委員 私も、せっかく始めるってことは、広報活動としてのツールが一つ増えるんで、せっかく増えたツールをやめるというのはどうかなっていうところもありますから、継続していくためには今奥委員と大井委員が言われることに関しては、全く同感です。以上です。

中岡英二委員長 できるだけ早め早めに取り組んでいきたいと思います。

森山喜久委員 あと、先ほど言った議会だよりの配布を検討してもらえたらと思います。

中岡英二委員長 今、委員の森山委員から、議会だよりも事前の資料として配布したらどうかという御意見がありました。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり) それでは、事前に配っていきたいと思います。事務局、何かありますか。3 その他について何かありますか。(「なし」と呼ぶ者あり) それでは広報特別委員会を終わります。お疲れ様でした。

午後 2 時 5 5 分 散会

令和 5 年 (2023 年) 2 月 2 1 日

広報特別委員長 中 岡 英 二